

## 被服衛生学セミナー開催記録

回	総合テーマ	会 場	開催日
1	衣服気候について	富士教育研究所・裾野	1982. 4. 2～3
2	ヒトの体温生理および被服の温熱特性	神戸ポートピア・神戸	1983. 4. 2～3
3	clo値を考える	箱根静雲荘・箱根	1984. 3. 30～31
4	衣服気候を考える	神奈川県立婦人総合センター・藤沢	1985. 3. 27～28
5	衣服圧を考える	大阪市立労働会館・大阪	1986. 11. 6～7
6	発汗の生理と被服汚染	王山会館・名古屋	1987. 11. 6～7
7	皮膚感覚と衣服	福島グリーンパレス・福島	1988. 10. 13～14
8	衣服内の熱・水分移動を考える	横浜郵便貯金会館・横浜	1989. 9. 25～26
9	寝床内気候と寝具	広島ガーデンパレス・広島	1990. 9. 20～21
10	高齢者の生活行動と衣服	京都パストラル・京都	1991. 9. 26～27
11	北方圏における衣服と温熱環境	藤学園セミナーハウス・札幌	1992. 8. 30～9. 1
12	生体生理現象の測定とその被服衛生学への応用	文化学園軽井沢山荘・長野	1993. 9. 12～14
13	高齢化社会における被服衛生学の役割	ラフォーレ修善寺・修善寺	1994. 8. 29～31
14	アジアの高温多湿地域における被服衛生学の問題	ラフォーレ修善寺・修善寺	1995. 8. 25
15	生体機能と衣服	尚綱女学院短期大学・名取	1996. 8. 21～23
16	電磁波と衣生活	こまばエミナース・東京	1997. 8. 27～28
17	21世紀における被服衛生学への期待	倉敷ファッションセンター・倉敷	1998. 8. 24～26
18	いま、被服研究に求められているもの・・・心地良さの心理・生理	京都テルサ・京都	1999. 8. 25～27
19	被服衛生学 ―明日への視点― 高齢者問題を学際的に考える	ホテルメトロポリタン秋田・秋田	2000. 8. 7～9
20	被服衛生学セミナー創立20周年記念	東レ総合研修センター・三島	2001. 8. 29
21	人間にとって被服とは何か -ファッションと健康の両面からのアプローチ-	長野市勤労者女性会館しなのき及びサンパルテ山王・長野	2002. 8. 25～27
22	アレルギーのはなし	実践女子大学・日野	2003. 8. 25
23	ストレスと今求められている衣服	九州大学国際交流プラザ・福岡	2004. 8. 23～24